

公表

【児童発達支援】事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ゆーもあstudio				公表日	2026年3月2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・訓練室、学習室、静養室、相談室等を整備し、こどもの心身の状態や支援内容に応じて、適切な環境で支援を行えるよう部屋を分けて運用しております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		・こどもの状態に応じて職員の配置数は常に適切な状態に保っております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・生活空間については、訓練室・学習室・静養室・相談室等を用途別に分け、こどもが「今、何をやる場所か」を視覚的に理解しやすい構造化された環境を整えております。 ・洗面所やトイレ、キッチン等にこども達がわかりやすい手順等の視覚情報を掲示しております。	・視覚化する情報やその掲示方法などを随時見直していき、より安心と安全を提供できる環境を目指します。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・清掃や整理整頓を徹底し、清潔で快適な環境を保っています。また、活動内容に応じて空間を使い分け、こどもが安心して過ごせる環境づくりを行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・活動内容に応じて部屋を移動可能で、こどもが滞在場所を選択できるようになっております。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・業務改善を進めるため、目標設定や振り返りを行う際には、職員会議や日々のミーティングを通して職員が意見を出し合い、PDCAサイクルに広く参画できる体制を整えています。現場での気づきや課題を共有し、改善につなげるよう努めております。 ・常勤職員が広く会議に参加できるよう、日程調整を行っております。決定事項を記録に残し確認できる仕組みづくりを行っております。	・非常勤職員も含めた情報共有の場と時間をより有効活用できるよう支援前後に時間を組み立ててまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・成長療育支援システムHUG（以下、HUG）の機能で共有しております。 ・保護者様向け評価表により意向を把握し、その内容を職員間で共有・検討することで業務改善に活かしております。 ・年1回の実施、頂いたご意見の職員間共有・改善に向けた会議を行っております。	・ご家庭からのより詳細なニーズを汲み取れるよう、努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・定期的な職員会議やミーティングを通して職員の意見を把握し、現場での課題や改善点を共有しています。出された意見については、実践・振り返りを行いながら、業務フローや支援内容の改善に反映しております。 ・毎日の打ち合わせや1 on 1（月に一度の施設長との面談機会）で意見交換しております。	・非常勤職員も含めた情報共有の場と時間をより有効活用できるよう支援前後に時間を組み立ててまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	・Googleクチコミのご協力をお願いしております。	・第三者による外部評価は現在実施しておりませんが、自己評価や保護者様・職員からの意見を活かし、業務改善を行っております。今後、外部評価の実施について検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・職員の資質向上を図るため、外部研修への参加や法人内研修を実施する機会を確保しております。さらに、研修で得た知識や技術については職員間で共有し、日々の支援や業務に活かせるよう努めております。 ・各職員、定期的な研修参加、研修内容の社内共有を行っております。	・可能な範囲で非常勤職員への研修等をより充実させていきます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・支援プログラムは、こどもひとりひとりの特性やニーズを踏まえて適切に作成しており、内容については事業所内で共有するとともに、HPを通じて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・初回面談や継続的な観察、保護者様からの聞き取りを基にアセスメントを行い、こどもと保護者様のニーズ、発達状況や課題を職員間で共有・分析した上で、児童発達支援計画を作成しております。 ・定期的に保護者様面談及び利用者ニーズを聞き取るの機会を設け、適切なアセスメントが行えるよう、意識しております。	・非常勤職員の意見も積極的に導入しやすい仕組みづくりを検討してまいります。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・利用するこどものアセスメント情報や家庭背景等を共有・検討会議する機会を大切にしております。 ・関係職員が共通理解の下で検討を行い、こどもの最善の利益を考慮して計画を作成しております。 ・計画作成の段階で職員の意見も広く反映される仕組みを取り、こどもの支援に共通理解を持つことができっております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・児童発達支援計画は職員間で共有しており、日々の申し送りやミーティングを通して内容を確認しながら、計画に沿った支援を行っております。 ・全職員が閲覧できる工夫を行っております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・標準化された評価ツールによるアセスメントに加え、日々の支援場面における行動観察や支援記録を通して、こどもの適応行動の変化や課題を把握しております。 ・保護者様向けにオリジナルのアセスメントシートを配布、こどもの日頃の行動観察について、常に全職員が見返せる形で記録を残しております。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		・ガイドラインに基づき、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の各視点を踏まえながら、子ども一人ひとりに必要な支援項目を設定しております。支援内容については、日常の支援場面で実施可能な具体的内容として計画に落とし込んでおります。	・より中長期的な視座で支援項目を検討していき、また日々の支援にもその狙いが分かりやすくなるよう職員間で協議を重ねていきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・活動プログラムの立案は、職員間で情報を共有しながらチームで行っています。こどもの特性や発達段階、日々の状況を踏まえ、複数の視点で検討しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・曜日によって企画するテーマが違い、バリエーションが豊富です。 ・振り返りを行いながら、活動内容を見直し、固定化しないよう工夫しております。 ・こどもの状況や季節にあったものとなるようスタッフミーティングで打ち合わせしております。 ・毎月のプログラムについて、常勤職員参加のもと、会議を通常2回行い、固定化しないよう工夫しております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		・集団の前で個別の学習の時間を設けております。 ・こどもの状況やニーズを踏まえ、個別活動と集団活動を柔軟に組み合わせた計画を作成し、支援を実施しております。また、活動中も様子を確認しながら、必要に応じて支援方法を調整しております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> 支援開始前には必ず職員間で打合せを行い、その日の支援内容やこどもの状況、役割分担について確認しております。共通理解のもと、チームで連携しながら支援を行っております。 非常勤職員にも支援内容、担当、動きについて疑問点がないよう打ち合わせで確認しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 臨機応変にその日の状況を引き継げるよう職員間の連携を推進できる仕組みづくりを行います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> こどもひとりずつその日の様子を共有しております。 毎日振り返りの時間を設け、業務日報へ記録、全職員へ共有できるよう工夫しております。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> 毎日HUGを用いて記録しております。 支援の都度記録を行い、こどもの行動や反応を職員間で共有しております。記録内容をもとに振り返りを行い、支援方法の見直しや改善に活かしております。 職員間で随時共有できる形で記録を行い、個別ケースについて必要に応じ会議を開いております。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 当事業所では、児童発達支援計画に基づき、半年ごとにモニタリングを実施しており、具体的には、サービス提供記録や活動評価をもとに、お子様の発達状況や支援の効果を確認しております。その結果、計画の内容に修正が必要と判断された場合は、保護者様と相談の上で目標の見直しや支援方法の調整を行い、適切な計画変更を実施しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 非常勤職員にも支援内容を踏まえたひとりひとりの成長点や課題点を確認していける仕組みづくりを確立させます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議には、日頃からそのこどもの支援に関わり、状況を十分に把握している職員が参画しております。また、こどもの様子や支援の経過を適切に共有できる体制を整えております。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係各所との会議内容や見通しをより施設内でも共有し合っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 地域の関係機関と連携し、保護者様の同意のもとで情報共有を行いながら、こどもにとってより適切な支援につなげられるよう体制を整えております。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に連携する場面が少なかったこともあり、その際の動きなどをよりイメージしやすいよう確認する時間を設けてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 併行利用や他機関への移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を実施しております。また、当事業所では昨年10月より児童発達支援児の受け入れを開始しており、その際、保育所、認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有を実施予定でございます。 	<ul style="list-style-type: none"> 左記にあるよう受け入れ件数が少ないことから実態がないので、情報共有の場になったことを想定した動きなどを事前に職員間でも固めてまいります。 包括的な支援が行える様、関係機関との連携強化を図ってまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> 就学時の移行に際しては、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有を行い、相互理解の促進に努めることを予定しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 上記同様、情報共有の場を想定した動きの確認を行ってまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 地域の子育て相談課と連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受けるとともに研修等に参加する機会を設けており、専門的な知見を支援の質の向上に活かせるよう努めております。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携は図っておりますが、助言・研修等の機会をより増やすことが課題と考えております。 	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では交流機会は多くありませんが、地域とのつながりを大切に、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流、地域のこどもと一緒に活動できる機会について、今後検討を進めてまいります。 ・地域イベントや公民館等の利用で機会を増やしていきます。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・HUGを用いて共有しております。 ・日常的な情報共有を通して、こどもの生活や支援の様子を保護者様と共有しております。 ・その際、発達の状況や課題についても話し合い、共通理解のもとで支援につなげております。 ・サービス提供記録やゆーもあ通信、送迎時に日ごろのこどもの状況を伝えております。また必要に応じ電話や対面での共有も行っております。 	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・研修情報等を随時お知らせしております。Webでの情報提供も検討中です。 ・家族支援を積極的に行い、必要なご家族に参加のお誘いを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様の対応力の向上を図る観点から、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や、ご家族等が参加できる研修の機会および情報提供について、ニーズを踏まえながら今後の実施に向け前向きに検討しております。
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・運営規程、支援プログラム、利用者負担等について、利用開始時に書面を用いて説明するとともに、内容に変更があった際や保護者様からの問い合わせに応じて、随時丁寧な説明ができるよう心がけております。 ・契約時に実施、随時ご不明点をご質問頂けるよう体制整備を行っています。 	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者および経験5年以上の指導員が保護者様と面談で支援に関連するご意向を確認しております。 ・児童発達支援計画の作成にあたって、こどもや保護者様の意思を尊重し、こどもの最善の利益を最優先に考慮しながら、面談等を通じてこどもやご家族の意向を確認する機会を設けております。 ・定期的な相談機会を設け最新の意向を聞き取れるよう意識しております。 	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・「児童発達支援計画」を基に支援内容を丁寧に説明し、内容について十分な理解を得た上で、保護者様から児童発達支援計画への同意を得ております。 	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		<ul style="list-style-type: none"> ・子育てや学校等のお悩みに、経験豊富なスタッフが相談にのり、助言や支援を行う機会を設けております。ご相談を希望される方は、どうぞお気軽にお声がけください。 	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会等の開催を通じて、保護者様同士が交流する機会を設けております。 ・また、きょうだい同士が交流できる機会についても、利用日の調整や内容等工夫し、必要に応じて支援を行っています。 ・直近だと2026年2月14日(土)にご希望者様に向けた保護者会を開催いたしました。 	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・こどもや保護者様からの苦情について、迅速かつ適切な対応につながるようチームでの早急な意思決定を心がけております。 ・その対応体制をより整備するとともに、その内容をこどもや保護者に周知しております。 	
41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なゆーもあ通信の発行や、HUG、HPの活用により、活動概要、行事予定、連絡体制等について、こどもや保護者様へ十分かつ適切に情報発信を心がけております。 		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・個人情報の取扱いについて、職員間での周知徹底を図り、十分に留意しております。	
	43 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・個々の特性や状況を勘案しながら、可能な限りそれぞれの希望に沿った配慮ができるよう、工夫を心がけております。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	・図書館で公共の場での過ごし方を学ぶ、近隣のスーパーで買い物をする、近隣のゴミ拾い活動をするなど、支援と紐づけながら地域に向けて事業所を知ってもらえる活動を定期的に行っております。 ・季節ごとの地域イベントへの参加等を必要に応じて行っております。	・事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営について、今後の実施に向け前向きに検討しております。
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	・吐しゃ物を処理するマニュアルが洗面所に貼られております。 ・事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルを策定し、職員およびご家族様に周知しております。発生を想定した訓練を実施するとともに、訓練結果や課題を踏まえ、マニュアルの見直し・改善も行っております。	・可能な限り非常勤職員も訓練参加できる仕組みづくりを考えていきます。
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害発生に備えて避難・救出等の訓練を定期的に行っております。また、訓練結果を踏まえ、BCPの見直しや改善も行っております。	・保護者様へHPを通じたマニュアル周知等の方法を検討していきます。
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	・事前に、服薬状況や予防接種、てんかん発作等のお子様の状況を確認しており、その内容を記録するとともに、利用ごとに継続的に確認しております。	・常に情報が最新のものになるよう、定期的なモニタリングを行う等その状況確認の方法についてより具体化してまいります。
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応しておりましたがヒヤリハット事案が発生しました。即座に発生内容を記録し、再発防止策を策定しております。今回のヒヤリハット事案を念頭に、今後も継続的に確認・管理を行ってまいります。	・上記同様、常に情報が最新のものになるよう、定期的なモニタリングを行う等その状況確認の方法についてより具体化してまいります。
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		・避難経路が部屋に貼られております。 ・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、十分な安全管理のもとで支援を行っております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	・こどもの安全確保に関して、ご家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容や対応手順について、書面や電話・面談等でご家族等へ周知しております。	・HPを通じ、全ての利用者様に周知できるよう仕組みづくりを行います。
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・ヒヤリハット事案の内容を毎日支援後のミーティングで確認し、事業所内で共有するとともに、再発防止策の検討や改善に活用しております。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・虐待防止の観点から、職員への研修や情報共有の機会を定期的に確保し、適切な対応を行っております。 ・月1回、虐待防止委員会を実施、事例検討や定期研修を行って	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	・契約時に身体拘束について説明、了承を得ております。計画書への記載は必要に応じて行っております。	・日常的に身体拘束が必要とされる子どもをお受けする場合には、虐待防止マニュアルに基づき、子どもや保護者様への事前説明・了解取得を行い、放課後等デイサービス計画に記載するなど、ルールに沿った対応を検討しております。